



Sun Management Center 3.6.1 ご 使用にあたって



Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 819-5756-10
2006年5月

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

U.S. Government Rights Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本製品に含まれる HG-MinchoL、HG-MinchoL-Sun、HG-PMinchoL-Sun、HG-GothicB、HG-GothicB-Sun、および HG-PGothicB-Sun は、株式会社リコーがリョービイマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。HeiseiMin-W3H は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、docs.sun.com、Java、Netra、Sun Fire、Sun StorEdge、Sun Enterprise、Ultra、Solstice SyMON、N1、Sun Blade、および Sun N1 System Manager Java は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標、登録商標もしくは、サービスマークです。

サンのロゴマーク、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、および Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。Netscape Navigator および Mozilla は、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation の商標および登録商標です。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社で共同開発されたソフトウェアです。©Copyright OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. Copyright OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2002 All Rights Reserved.

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK Server/ATOK12」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK Server/ATOK12」にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

「ATOK Server/ATOK12」に含まれる郵便番号辞書(7桁/5桁)は日本郵政公社が公開したデータを元に制作された物です(一部データの加工を行なっています)。

「ATOK Server/ATOK12」に含まれるフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド』に添付のものを使用しています。

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK のグラフィカル・ユーザインタフェースを実装するか、またはその他の方法で米国 Sun Microsystems 社との書面によるライセンス契約を遵守する、米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun Management Center 3.6.1 Release Notes

Part No: 819-5419

目次

はじめに	7
1 インストール時の問題点	11
インストール関係のバグ	11
起動スクリプトがエラーメッセージを表示しないことがある (4851517)	11
Linux で GUI からの増分インストールができない (6410179)	13
Solaris 10 Update2 システムからのエージェントおよびベースアドオンからの同時アンインストールで、システムのアインストールがハングアップする	13
Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアのインストールに関する注意事項	13
Sun Management Center 3.6 Version 3 の Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアのインストール: Netra 1290 システムでは必須	13
▼ Sun Management Center 3.6 Version 3 のアドオンソフトウェアをインストールする	14
インストール中に発生する地域対応に関するバグ	14
Advanced System Monitoring (ASM) のセットアップメッセージが地域対応していない (6387101)	14
一部アジアロケールのソフトウェアライセンスと補足条項が英語である (4874523)	15
地域対応環境で es-guiinst を使用したときのインストールメッセージの表示が不完全 (4841202)	16
Sun Management Center 3.6.1 アドオン製品の地域対応に関する注意事項	16
Sun Management Center 3.6.1 アドオン製品でサポートされる言語およびロケール	16
Solaris Container Manager に関するバグ	17
Sun Web Console 2.2.3 ソフトウェアのインストール	17
▼ メディアから Sun Web Console をインストールする	17
▼ Sun Web Console を起動する	18
▼ Sun Web Console をアンインストールする	19

2 実行時の問題	21
Sun Management Center のバグ	21
再構成で、es-guisetup によってエージェントの SNMP ポートが更新されない (6372597)	21
Java Console の「ヘルプ」ボタンが、Sun Management Center 3.6 Document Collection を 参照している (6413942)	21
Netra 1290 システムでディスクの構成解除または構成後、「ハードウェア概要」テー ブルが表示されない (6395211)	22
システムの物理表示に、現在の表示に関係のない正面表示が設定される (6396604)	22
x86 & Linux ホストでのエージェントのアップグレード後、エージェント値が自動的 に更新されない (6410213)	22
SPARC システム用のイメージ作成で、X86/X64 構成リーダーアドオンを作成できる (6410846)	22
システムのブートまたはリブートで、Sun Management Center サービスがあるため に、cryptosvc サービスがログにエラーを記録する (6334872)	23
(Solaris 10 のみ) 起動中に Sun Management Center サービスが停止する (6336538)	24
Sun Management Center データベース内のエントリの重複 (5051992)	24
サーバーサポートモジュールの ACL にユーザーが追加されない (4843429)	25
JDK 1.5 の Linux マシンで Sun Management Center コンソールのログイン画面でキー ボード入力が受け付けられない (6294368)	25
ゾーンエージェントに対して MCP が機能しない (6342054)	26
完全ルートゾーンで MCP が一部モジュールパラメータをエージェントに伝播しない (6420023)	26
フィルタ条件で 1 つまたは複数の OS を除外したときに、その OS マシンが検出され る (6403422)	26
フィルタ条件をプラットフォームタイプにして、IP アドレス範囲を指定したとき に、該当するホストが検出されない (6341225)	26
フィルタ条件にあるプラットフォームタイプリストにあるゾーンおよび x86-generic-pc のエントリが間違っている (6419443)	27
「ジョブの管理」ダイアログで Java 例外がスローされる (6346065)	27
ppc での adhoc コマンドの実行終了後に、stdout に書き込まれたメッセージの一部が probServer によって返されないことがある (6415353)	27
地域対応に関するバグ	27
CLI の Help コマンドで表示される製品バージョンが間違っている (6408902)	27
GUI による設定: Performance Reporting Manager の設定の進捗パネルで「次へ」ボタ ンが有効になる (5029528)	28
Netscape 4.7.x で簡体字中国語ロケール (zh_CN.GBK または zh_CN.GB18030) のページが正 しく表示されない (4864462)	28
Volume System Monitoring (VSM) のバグ	28

「規則」ウィンドウで「OSバージョン」の空白が正しく表示されない (6344665)	28
OS オブジェクトテーブルで Web コンソールから Apache Server エラーが返される (6330990)	29
複数バイト文字を含むコンテナ名がコンソールで正しく表示されない (6343127)	29
Hardware Diagnostic Suite ソフトウェアのバグ	29
Hardware Diagnostic Suite の <code>enctest</code> が電源装置の状態を報告しないことがある (4908213)	29
JAVA_HOME パスに 80 文字を超える長さの値を設定すると、間違ったエラーメッセージが表示される (4854768)	30
ローカルゾーン内で Hardware Diagnostic Suite が正しく動作しない (6337001)	30
Performance Reporting Manager ソフトウェアのバグ	30
Java サービスに問題が発生すると、Performance Reporting Manager がエージェントデータの収集に失敗する (4855306)	30
「すべてのホスト」オプションを選択すると、アラームレポートが正しくフィルタリングされない (4788475)	31
Service Availability Manager ソフトウェアのバグ	32
x86 システムの IMAP4 モジュールに空白のセル値がある (5032172)	32
Microsoft Windows 2000 システムにおいて「サービスオブジェクトの変更」ダイアログボックスで文字が受け付けられないことがある (4738717)	32
Solaris Container Manager のバグ	33
Sun Management Center の CLI が翻訳されていない	33
使用状況グラフのイメージのタイトルと見出しが英語で表示される	33
SPARC: 拡張アカウンティング機能が Solaris 8 で使用できない	33
/etc/project データベース内の一部のプロジェクトが Container Manager で検出されない場合がある	33
セキュリティ権限のエラーメッセージが不完全	34
エージェントのパフォーマンスが低下するか、応答が遅くなる (6247892)	35
サーバーの再起動後に Java Web Console が再起動しない (6252233)	35
無効なロケールを選択したときにゾーンの作成に失敗する (6259233)	36
アラームバッジではなくツールチップが表示される (6219617)	36
ブラウザの「戻る」ボタンをクリックしたときに例外が発生する場合がある (6241424)	36
ユーザー nobody が所有する一部のプロセスがコンテナに移動しない (5011290)	36
nscd を一致式として使用するとホストがハンガアップする (4975191)	37
サーバー層の再インストールまたは設定の後にエージェントホストが見つからない (4964051)	37
ゾーンの作成後に <code>zlogin -C</code> が必要 (6388082)	38
構成リーダーアドオンのバグ	38
<code>es-validate</code> コマンドの報告するバージョン番号が英語版とほかの言語版の間で異なる	

る (6331558)	38
ローエンドおよびミッドレンジシステムで PICL がいくつかのシステム構成変更を読み取らないことがある (6243759)	38
Netra のバグ	39
動的再構成後に PICL デーモンを再起動しなければならない (6247392)	39
Netra 1280 サーバーで DC PSU タイプ D142 の動的再構成後に PICL デーモンを再起動しなければならない (6247392)	39
DC 電源装置フィールドの A と B が逆になっている (6277372)	40
動的再構成で内部デバイスが検出されない (6326558)	40
ワークグループサーバーのバグ	40
Sun Fire V880 または Sun Fire V480 サーバーで「アラーム」タブを選択すると、アラームの警告メッセージが発生する (6317433)	40
Solaris 10 が動作する Sun Fire V890 サーバーの「ハードウェア規則」テーブルのプロセッサタイプに誤りがある (6318026)	41
3 最新情報	43
サポート廃止になったプラットフォーム	43
Sun Management Center 3.6.1 のサポートする Sun システム	44
Release 3.6 Version 3 における Netra 1290 システムに対するサポート	46
Solaris 10 Update 3 における Fault Manager イベントサービスの提供	47
4 マニュアルに関する情報	49
全般的な注意事項	49
『Sun Management Center 3.6.1 インストールと構成ガイド』	49
Solaris Container Manager 3.6.1 オンラインヘルプ	49
▼ 追加ゾーン属性を変更する	50
『Sun Management Center 3.5 Sun StorEdge A5x00 および T3 Array のための追補マニュアル』	50
『Sun Management Center 3.5 VSP High End Entry サーバー (ワークグループサーバー) のための追補マニュアル』	51
『Sun Management Center 3.5 ワークステーションのための追補マニュアル』	51
フランス語、日本語、韓国語、簡体字中国語、および繁体字中国語の追補マニュアルに関する情報	52
『Sun Management Center 3.5 Netra サーバーのための追補マニュアル』 (日本語版のみ) ...	52

はじめに

この文書には、Sun™ Management Center 3.6.1 ソフトウェアとそのアドオン製品に関するインストール時の問題点、実行時の問題点、最新情報、マニュアルの問題点に関する情報が含まれています。

Sun Management Center 3.6.1 のマニュアルは、ソフトウェア CD では提供されません。 <http://docs.sun.com> から、英文マニュアルおよび地域対応のマニュアルを入手できます。

対象読者

このマニュアルは、Sun Management Center 3.6.1 ソフトウェアおよびそのアドオン製品をインストールし、使用するユーザーおよびシステム管理者を対象にしています。

関連マニュアル

Sun Management Center 3.6.1 のマニュアルコレクションは、ベースおよびアドオン用のマニュアルで構成されています。

主要なマニュアルは、次のとおりです。

- 『Sun Management Center 3.6.1 ご使用にあたって』 (本書)
- 『Sun Management Center 3.6.1 インストールと構成ガイド』
- 『Sun Management Center 3.6.1 ユーザーガイド』
- 『Sun Management Center 3.6.1 Developer Environment Reference Manual』
- 『Quickstart: Installing and Setting Up Sun Management Center 3.6.1 - ja』

本書は、『Sun Management Center 3.6.1 インストールと構成ガイド』のサブセットです。

アドオンのマニュアルには次のものがあります。

- 『Sun Management Center 3.6 System Reliability Manager ユーザーガイド』
- 『Sun Management Center 3.6.1 Performance Reporting Manager User's Guide』
- 『Sun Management Center 3.5 Service Availability Manager User's Guide』

- 『Quickstart: Installing and Setting Up Solaris Container Manager 3.6 With Sun Management Center』
- 『Solaris Container Manager 3.6.1 インストールと管理』
- 『Sun Management Center Hardware Diagnostic Suite 2.0 User's Guide』
- 『Sun Management Center 3.6 Sun Fire、Sun Blade および Netra システムのための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire ハイエンドシステムご使用にあたって』
- 『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire ハイエンドシステムのための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire ミッドレンジシステムご使用にあたって』
- 『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire ミッドレンジシステムのための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムご使用にあたって』
- 『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムのための追補マニュアルs』
- 『Sun Management Center 3.5 Supplement for Netra Servers』
- 『Sun Management Center 3.5 Supplement for VSP High End Entry Servers (Workgroup Servers)』
- 『Sun Management Center 3.5 Supplement for Workstations』
- 『Sun Management Center 3.6 Version 2 Sun Fire、Sun Blade、および Netra システムのためのアドオンソフトウェアリリースノート』
- 『Sun Management Center 3.6 Version 2 アドオンソフトウェアリリースノート Sun Fire T1000 サーバーのための補足』

UNIX コマンド

このマニュアルは、システムの停止、システムの起動、デバイスの構成など、UNIX®の基本的なコマンドや手順については説明しません。

このような情報については、次のマニュアルを参照してください。

- Sun 周辺機器 使用の手引き
- <http://docs.sun.com> にある Solaris™ ソフトウェア環境に関するオンラインマニュアル
- システムに付属するその他のソフトウェアマニュアル

製品情報

この製品に関する情報は、Sun Management Center の Web サイト、<http://www.sun.com/sunmanagementcenter> から入手できます。

Sun Management Center 製品には、オープンソースソフトウェアが含まれています。このリリースに含まれるオープンソースソフトウェアのライセンス条項、帰属、著作権の内容などを確認するには、媒体に提供されている copyright ファイルを参照してください。

マニュアル、サポート、およびトレーニング

Sun の Web サイトでは、以下の追加情報を提供しています。

- マニュアル (<http://jp.sun.com/documentation/>)
- サポート (<http://jp.sun.com/support/>)
- トレーニング (<http://jp.sun.com/training/>)

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用しません。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。 machine_name% you have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	machine_name% su Password:
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm <i>filename</i> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。

表 P-1 表記上の規則 (続き)

字体または記号	意味	例
「」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第5章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	<code>sun% grep '^#define \ XV_VERSION_STRING'</code>

コマンド例のシェルプロンプト

以下の表に、Cシェル、Bourneシェル、およびKornシェルのデフォルトのUNIXシステムプロンプト、およびスーパーユーザーのプロンプトを紹介します。

表 P-2 シェルプロンプト

シェル	プロンプト
Cシェル	<code>machine_name%</code>
Cシェルのスーパーユーザー	<code>machine_name#</code>
BourneシェルおよびKornシェル	<code>\$</code>
BourneシェルおよびKornシェルのスーパーユーザー	<code>#</code>

インストール時の問題点

ここで説明する事項には、前提条件やヒント、障害追跡に関するヒント、バグなど、ユーザーが知っておくべき情報が含まれています。バグは、これらの情報のサブセットです。バグには追跡番号が割り当てられており、この番号は括弧で囲って記載されています。バグおよびパッチに関する最新情報は、SunSolveSM サイト、<http://sunsolve.sun.com> を参照してください。

インストール関係のバグ

起動スクリプトがエラーメッセージを表示しないことがある (4851517)

起動スクリプトが、`Could not start Grouping service` や `Could not start Platform Agent` などのエラーメッセージを表示しないことがあります。

この種のエラーメッセージが表示されるのは、Sun Fire システムコントローラから `es-guiinst` コマンドを実行したとき、あるいは負荷の大きいマシンで Sun Management Center コンポーネントが起動されたときです。

また、実際にはコンポーネントが正常に起動されているにもかかわらず、そのコンポーネントのプロセスが決まった時間内に実行開始しなかった場合にも、同種のエラーメッセージが表示されることがあります。

この問題は、グルーピングサービスとプラットフォームエージェントコンポーネントのどちらでも観察されています。

こうした場合、起動スクリプトは、次のことを行います。

- コンポーネントプロセスの実行開始を試みる。
- n 秒間、休眠する。
- プロセスのステータスをチェックし、成功か失敗かを報告する。

負荷の大きいマシンでは、ステータスチェックの結果が遅れることがあり、誤って、ステータスチェックエラーになることがあります。このエラーは、結果が n 秒以内に受信されなかったことが原因です。

回避策: 次の手順で回避してください。

1. 次のプロセスが実行中であるかどうかを確認します。

- エージェント
- トポロジサービス
- トラップハンドラサービス
- 構成サービス
- イベントハンドラサービス
- メタデータサービス
- プラットフォームエージェント
- プラットフォームエージェントのインスタンス

次のコマンドを入力します。

```
/usr/bin/ps -ef | grep esd
```

注 – Solaris 10 の場合、このコマンドは、大域ゾーンでは `/usr/bin/ps -fz global | grep esd`、非大域ゾーンでは `/usr/bin/ps -fe | grep esd` です。

2. 次のようにコマンドを入力して、グルーピングサービスが実行中であるかどうかを確認します。

```
/usr/ucb/ps -wwxa | grep SunMCService
```

3. 次のコマンドを使用して、Java サーバーが動作中であるかどうかを確認します。

```
/usr/ucb/ps -wwxa | grep java | grep ServerMain
```

4. 次のようにコマンドを入力して、Web サーバーが動作中であるかどうかを確認します。

```
/usr/ucb/ps -wwxa | grep java | grep tomcat
```

5. 次のようにコマンドを入力して、ハードウェアサービスが実行中であるかどうかを確認します。

```
/usr/ucb/ps -wwxa | grep java | grep HWDS
```

6. 実行されていないサービスがある場合は、マシンの負荷を減らしてから Sun Management Center の各プロセスを実行開始します。

Linux で GUI からの増分インストールができない (6410179)

回避策: Linux への増分インストールには、CLI を使用してください。

Solaris 10 Update2 システムからのエージェントおよびベースアドオンからの同時アンインストールで、システムのアンインストールがハングアップする

回避策: エージェントをアンインストールする前に、`fmadm` コマンドを使用して Fault Manager プラグインを手動で読み込み解除してください。手順を次に示します。

1. `fmadm unload libfmaln` コマンドを入力して、`libfmaln` モジュールを読み込み解除します。
2. `es-uninst -x` を入力して、エージェントをアンインストールします。

Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアのインストールに関する注意事項

Sun Management Center 3.6 Version 3 の Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアのインストール: Netra 1290 システムでは必須

Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアをインストールする場合は、Release 3.6 Version 3 の使用を強く推奨します。

注 - Netra 1290 システムをサポートするには、Release 3.6 Version 3 が必須です。このアドオンソフトウェアを以前にインストールしたことがあっても、コア 3.6.1 ソフトウェアをインストールしたあとに再インストールしてください。

▼ Sun Management Center 3.6 Version 3 のアドオンソフトウェアをインストールする

- 1 Sun Management Center 3.6.1 ソフトウェアをインストールする場合、Sun Fire エントリレベルシステム製品はインストールしないでください。
- 2 Sun Management Center 3.6.1 ソフトウェアをインストールしたあとに、Sun Management Center 3.6 Version 3 のアドオンソフトウェアを入手します。

このアドオンソフトウェアは、<http://www.sun.com/software/download/index.html> のソフトウェアダウンロードサイトに zip ファイル形式で提供されています。

「New Downloads」の欄に「Sun Management Center 3.6 Version 3」のリストが見つからない場合は、「All Products」の「A-Z Index」を使用して、ソフトウェアを検索してください。

このリリースのインストールについては、『Sun Management Center 3.6 Version 3 Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムのためのアドオンソフトウェアご使用にあたって』を参照してください。

この『ご使用にあたって』は、<http://docs.sun.com/> から入手できます。

「Sun Management Center 3.6 ソフトウェアからのアップデート」の節の指示に従って、Sun Management Center 3.6 ソフトウェアに対する参照を「3.6.1」に置き換えてください。

インストール中に発生する地域対応に関するバグ

Advanced System Monitoring (ASM) のセットアップメッセージが地域対応していない (6387101)

ASM (SUNW*am) の地域対応パッケージの 1 つがサーバーレイヤーにインストールされていません。このため、セットアップメッセージが英語でしか表示されません。

地域対応版でメッセージが英語で表示されます。この影響を受けるのは、File Scanning、Fault Manager、HP JetDirect、IPv6 Instrumentation、LogView ACL、Print Spooler、Health Monitor、MIB-II Instrumentation、Service Management Facility、NFS File Systems、NFS Statistics、Process Monitoring、Kernel Reader、Solaris Process Details、および Directory Resize Monitoring モジュールと Java Console の「ログ表示」タブ内のメッセージです。

回避策: 次の手順で回避してください。

1. 次のように入力してスーパーユーザーになります。

```
# su -
```

2. 必要なパッケージがあるディレクトリに移動します。

```
cd <imagedir>/disk2/image/SunOS/<arch>/Addons/AdvancedMonitoring/Common/Basic
```

3. SUNW*am パッケージを手動で追加します。

```
# pkgadd -d <packagename>
```

地域対応版のパッケージは、SUNWfram (フランス語)、SUNWjaam (日本語)、SUNWkoam (韓国語)、SUNWcam (簡体字中国語)、およびSUNWham (繁体字中国語)です。

注 - ASM をアンインストールする場合は、pkgrm コマンドを使用し、これらパッケージを手動で削除する必要があります。

一部アジアロケールのソフトウェアライセンスと補足条項が英語である (4874523)

次のアジアロケールの場合、インストール中、ソフトウェアライセンス (SLA) および補足条項が英語で表示されます。

言語	ロケール
日本語	ja_JP.UTF-8
簡体字中国語	zh.UTF-8zh_CN.UTF-8、zh.GBK、zh_CN.GBK、zh_CN.GB18030
繁体字中国語	zh_TW.UTF-8
韓国語	ko.UTF-8ko_KR.UTF-8

次のアジアロケールでは、地域対応の SLA ファイルが使用され、適切な言語で表示されます。

言語	ロケール
日本語	ja, ja_JP.PCK, ja_JP.EUC
簡体字中国語	zh, zh_CN.EUC
繁体字中国語	zh_TW, zh_TW.BIG5、 zh_TW.EUC
韓国語	ko, ko_KR.EUC

サポートされている各言語の SLA は、Sun Management Center メディアキットに含まれる印刷形式のファイルで提供されています。

回避策: なし。

地域対応環境で es-guiinst を使用したときのインストールメッセージの表示が不完全 (4841202)

アジアロケールの環境で es-guiinst コマンドを使用してインストールした場合、一部画面のインストールメッセージの表示が不完全になります。この問題は、英語ロケールで比較的大きなシステムフォントサイズを使用している場合にも発生します。

回避策: テキスト全体が表示されるように、画面のサイズを手動で変更するか、画面を最大化してください。

Sun Management Center 3.6.1 アドオン製品の地域対応に関する注意事項

Sun Management Center 3.6.1 アドオン製品でサポートされる言語およびロケール

Sun Management Center 3.6.1 アドオンソフトウェア製品でサポートされる言語は、表 1-1 に示すとおりです。

- Sun Fire™ ハイエンドシステム
- Sun Fire ミッドレンジシステム
- Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム
- ワークグループサーバー
- ワークステーション (デスクトップ) システム
- Netra™ サーバー
- Sun Blade™ および Sun Fire エントリーレベルプラットフォームシステム

表 1-1 Sun Management Center 3.6.1 アドオン製品でサポートされる言語およびロケール

言語	ロケール
フランス語	fr fr_ FR.ISO8859-15
日本語	ja
韓国語	ko
簡体字中国語	zh
繁体字中国語	zh_TW

Solaris Container Manager に関するバグ

Sun Web Console 2.2.3 ソフトウェアのインストール

Sun Web Console 2.2.3 ソフトウェアは、Sun Management Center 3.6.1 をインストールする前にインストールする必要があります。Sun Management Center のグラフィカルユーザインタフェース (GUI) は、ブラウザを使用します。この GUI を使用するには、Sun Management Center のサーバーレイヤーに Sun Web Console 2.2.3 ソフトウェアをインストールする必要があります。Sun Web Console 2.2.3 ソフトウェアは Sun Management Center 3.6.1 メディアキットに含まれており、Solaris 8 または 9 オペレーティングシステムをインストールする場合は必ずインストールします。

Sun Management Center または Sun Management Center をインストールする前に Sun Web Console 2.2.3 をインストールすることで、次のソフトウェアが確実にインストールされます。

- Tomcat サーバーの正しいバージョン 4.0.5
- Java™ 2 Platform, Standard Edition (J2SE™ プラットフォーム) の正しいバージョン 1.4.2 以降

Tomcat サーバーの旧バージョンが現在インストールされている場合は、先にそのソフトウェアパッケージを削除する必要があります。

Sun Web Console ソフトウェアは、J2SE 1.4.2 以降のソフトウェアに依存します。J2SE ソフトウェアは Sun Web Console ソフトウェアに含まれます。J2SE の旧バージョンがある場合は、インストール時に J2SE ソフトウェアの更新を確認するメッセージが表示されます。

注 - Sun Web Console 2.2.3 のベータ版がすでにインストールされている場合は、先に Sun Web Console 2.2.3 をアンインストールする必要があります。詳細は、[19 ページの「Sun Web Console をアンインストールする」](#)を参照してください。

▼ メディアから Sun Web Console をインストールする

注 - Sun Web Console ソフトウェアは、デフォルトの場所にインストールする必要があります。

- 1 次のように入力してスーパーユーザーになります。

```
% su -
```

- 2 Tomcat サーバーがすでにインストールされている場合は、次のように入力してバージョンを確認します。

```
# pkginfo -l SUNWtcatu
```

Sun Web Console ソフトウェアに含まれるバージョンは、11.9.0,REV=2002.03.02.00.35 です。

- 3 インストールされているバージョンが**11.8.0**以下から始まる場合は、次のように入力して Tomcat サーバーを削除します。

```
# pkgrm SUNWtcatu
```

正しいバージョンは、あとでインストール処理中にインストールされます。

- 4 Sun Management Center 3.6.1 の提供媒体を挿入します。

- 5 次のように入力して、Sun Web Console ソフトウェアがあるディレクトリに移動します。

```
# cd <DiskMountDir>/image/SunOS/sparc/Lockhart2.2.3/sparc
```

- 6 JAVA_HOME 環境変数を設定します。たとえば、C シェルでは次のように入力します。

```
# setenv JAVA_HOME /usr/j2se/bin
```

- 7 次のように入力してソフトウェアをインストールします。

```
# ./setup
```

- システムに J2SE バージョン 1.4.2 ソフトウェアがインストールされている場合は、インストーラによって Sun Web Console ソフトウェアが自動的にインストールされます。インストールが完了するまで待ちます。
- システムに J2SE の 1.4.2 より前のバージョンがインストールされている場合は、J2SE バージョン 1.4.2 ソフトウェアが Sun Web Console ソフトウェアと同時に自動的にインストールされます。インストールが完了するまで待ちます。

- 8 インストールが終了したら、次のメッセージが表示されます。

```
Installation complete.
```

```
Server not started! No management applications registered
```

これは、正しいメッセージです。

- 9 次のように入力して、システムの再起動時に Sun Web Console が自動的に起動されるようにします。

```
# /usr/sbin/smcwebserver enable
```

- 10 Sun Management Center 3.6.1 ソフトウェアのインストールを続行します。

詳細については、以下を参照してください。

- 『Sun Management Center 3.6.1 インストールと構成ガイド』

▼ Sun Web Console を起動する

ソフトウェアのインストールが完了したら、Sun Management Center の GUI を使用する前に Sun Web Console を起動する必要があります。

- 1 ブラウザを起動します。
- 2 **https:// host_machine_name:6789**
Sun Web Console のログインページが表示されます。

▼ Sun Web Console をアンインストールする

Sun Web Console ソフトウェアの旧バージョンがシステムにインストールされている場合は、バージョン 2.2.3 をインストールする前に旧バージョンをアンインストールする必要があります。システムから Sun Management Center を削除したあとに Sun Web Console ソフトウェアを削除する場合も、この手順に従います。

注 - /usr/lib/webconsole ディレクトリまたはそのサブディレクトリで `setup -u` を実行すると、`pkgrm` に失敗します。

- 1 次のように入力してスーパーユーザーになります。
`% su -`
- 2 **Sun Web Console** ソフトウェアパッケージを削除するには、スーパーユーザー (`su -`) で次のように入力して削除スクリプトを実行します。
`# /usr/lib/webconsole/setup -u`
- 3 スクリプトが終了したら、**Tomcat** サーバーと **Java 1.4.2** ソフトウェアの削除を確認するメッセージが表示されます。このソフトウェアを残すには、次のプロンプトで「**n**」と入力します。

```
If you have other work that requires use of the
Tomcat Servlet/JSP Container software, you may wish to
not delete it from your machine.
```

```
Do you want to delete it? [n]? n
```

```
If you have other work that requires use of the
Java 1.4.2 software, you may wish to not delete it
from your machine.
```

```
Do you want to delete it? [n]? n
```


実行時の問題

ここで説明する事項には、前提条件やヒント、障害追跡に関するヒント、バグなど、ユーザーが知っておくべき情報が含まれています。バグは、これらの情報のサブセットです。バグには追跡番号が割り当てられており、この番号は括弧で囲って記載されています。バグおよびパッチに関する最新情報は、SunSolveSM Web サイト、<http://sunsolve.sun.com> をご覧ください。

Sun Management Center のバグ

再構成で、es-guisetup によってエージェントの SNMP ポートが更新されない (6372597)

回避策: es-config コマンドを使用して、エージェントの SNMP ポートを変更してください。

Java Console の「ヘルプ」ボタンが、Sun Management Center 3.6 Document Collection を参照している (6413942)

Java Console で「ヘルプ」ボタンをクリックすると、Sun Management Center 3.6.1 Document Collection ではなく、Sun Management Center 3.6 Document Collection が参照されます。

回避策: Java Console のヘルプの場合は、`/var/opt/SUNWsymon/cfg/javaconsole.properties` ファイルをエディタで開いて、`sunmc.docs.path` エントリを次のように変更してください。

```
sunmc.docs.path=docs.sun.com/app/docs/coll/810.8?
```

Web Console のヘルプの場合は、
/opt/SUNWsymon/web/console/smwebconf/smwebconf.properties ファイルをエディタで開いて、sunmc.docs.path エントリを次のように変更してください。

```
sunmc.docs.path=docs.sun.com/app/docs/coll/810.8?
```

Netra 1290 システムでディスクの構成解除または構成後、「ハードウェア概要」テーブルが表示されない (6395211)

回避策: ホストの「詳細」ウィンドウを開き直してください。「ハードウェア概要」テーブルが表示されます。

システムの物理表示に、現在の表示に関係のない正面表示が設定される (6396604)

「詳細」ウィンドウの「ハードウェア」タブのシステムの物理表示に、現在の表示に関係のない正面表示が設定されます。また、履歴にも正面表示だけ示されます。

回避策: なし

x86 & Linux ホストでのエージェントのアップグレード後、エージェント値が自動的に更新されない (6410213)

Solaris x86 または Linux エージェントを CLI/GUI インストーラまたは「エージェント更新」でアップグレードしたとき、トポロジに最新情報が反映されません。

回避策: エージェントをアップグレードしたあとに、トポロジオブジェクトを手動で変更してください。

SPARC システム用のイメージ作成で、X86/X64 構成リーダーアドオンを作成できる (6410846)

Solaris SPARC システムの場合、「エージェント更新」で X86/X64 構成リーダーアドオンを含むイメージを作成できます。ただし、このアドオンは、Solaris SPARC システムにインストールされません。

回避策: Solaris SPARC システム用イメージを作成するときに、該当するアドオンだけを選択してください。

システムのブートまたはリブートで、**Sun Management Center** サービスがあるために、cryptosvc サービスがログにエラーを記録する (6334872)

システムの再起動後、Sun Management Center サービスが実行を開始しようとするときに、cryptosvc サービスと kcfld デーモンに制御が渡り、/var/adm/messages にエラーが記録されます。

次のエラーメッセージが表示されることがあります。

```
Oct  3 18:16:09 atqa32 lomv: 10/3/2005 23:16:9 GMT LOM time reference

Oct  3 18:16:13 atqa32 kcfld[106]: kcfld: elfsign_hash_mem_resident failed
to hash for /usr/lib/security/pkcs11_softtoken.so: sign or verify of ELF
object failed

Oct  3 18:16:13 atqa32 kcfld[106]: kcfld: elfsign_hash_mem_resident failed
to hash for /usr/lib/security/pkcs11_softtoken.so: sign or verify of ELF
object failed

Oct  3 18:16:13 atqa32 esd[1949]: libpkcs11:
/usr/lib/security/pkcs11_softtoken.so signature verification failed. See
cryptoadm(1M). Skipping this plug-in.

Oct  3 18:16:13 atqa32 esd[1949]: libpkcs11:
/usr/lib/security/pkcs11_softtoken.so signature verification failed. See
cryptoadm(1M). Skipping this plug-in.

Oct  3 18:16:13 atqa32 cfgserver[1949]: syslog   Oct 03 18:16:13
cfgserver   Unable to get pkcs session. Can not initialize snmp engine

Oct  3 18:16:13 atqa32 cfgserver[1949]: syslog   Oct 03 18:16:13
cfgserver   *** terminating execution ***
```

回避策: システムを再起動する前に、es-stop -A ですべての Sun Management Center サービスを停止してください。システムが再起動すると、すべてのサービスがエラーなしで実行開始します。

(Solaris 10 のみ) 起動中に Sun Management Center サービスが停止する (6336538)

Solaris 10 の場合、起動中、Sun Management Center エージェントのサービスは停止されません。

次のエラーメッセージが表示されることがあります。

```
Oct 12 09:19:59 atqa33 metadata[6245]: [ID 985908 daemon.alert] syslog
Oct 12 09:19:59 metadata      {received software termination signal}
Oct 12 09:19:59 atqa33 metadata[6245]: [ID 122441 daemon.alert] syslog
Oct 12 09:19:59 metadata      *** terminating execution ***
Oct 12 09:19:59 atqa33 event[27957]: [ID 652029 daemon.alert] syslog
Oct 12 09:19:59 event        {received software termination signal}
Oct 12 09:19:59 atqa33 event[27957]: [ID 721961 daemon.alert] syslog
Oct 12 09:19:59 event        *** terminating execution ***
Oct 12 09:19:59 atqa33 agent[28990]: [ID 651061 daemon.alert] syslog
Oct 12 09:19:59 agent        {received software termination signal}
Oct 12 09:19:59 atqa33 agent[28990]: [ID 891934 daemon.alert] syslog
Oct 12 09:19:59 agent        *** terminating execution ***
```

回避策: システムを再起動する前に `es-stop -A` ですべてのサービスを停止してください。この場合、`syslog` ファイルにエラーメッセージは記録されません。

Sun Management Center データベース内のエントリの重複 (5051992)

次の条件が存在すると、Sun Management Center データベースでホストエントリが重複することがあります。

- インストール後に IP アドレスが変更された。
- インストール後にホスト名が変更された。
- ホスト名に複数のホストエイリアスがある。

回避策:

エントリの重複を回避するために、次のことを推奨します。

- 複合オブジェクトを利用しない。
- サブネットまたは IP アドレス範囲の検出機能を利用しない。
- トポロジに追加する前にエージェントマシン上の
/var/opt/SUNWsymon/cfg/domain-config.x ファイルにホスト名が存在することを確認する。

サーバーサポートモジュールの ACL にユーザーが追加されない (4843429)

エージェントのすべての ACL から esadm グループを削除してから、エージェントの ACL に個別にユーザーを追加した場合、サーバーサポートモジュールの ACL にユーザーが自動的に追加されません。サーバーサポートモジュールにユーザーが反映されていないため、サーバーサポートモジュールは Performance Reporting Manager の有効化または無効化を許可しません。次のメッセージが表示されます。

```
Unable to enable/disable PRM data collection on an agent with new user
```

回避策: エージェントの ACL に esadm グループを追加してから、esadm グループに個別にユーザーを追加してください。

JDK 1.5 の Linux マシンで Sun Management Center コンソールのログイン画面でキーボード入力が受け付けられない (6294368)

回避策 1: 次の手順で回避してください。

1. ログイン画面を最小化してから、元のサイズに戻します。
2. アクティブなカーソルがあるフィールドに入力を行います。
3. 次のフィールドにカーソルを移動します。
4. ログイン画面を最小化してから、元のサイズに戻します。
5. そのフィールドに入力を行います。

回避策 2: JDK 1.4 または互換バージョンを使用します。

ゾーンエージェントに対して **MCP** が機能しない (6342054)

ゾーンエージェントがベースエージェントとして使用されている場合、Module Configuration Propagation (MCP) はゾーンエージェントに対して機能しません。MCP からゾーンエージェントへの構成データの伝播は失敗します。

ゾーンエージェントをベースにした MCP 伝播に失敗した場合、エラーメッセージは `taskreq.log` に記録されます。

```
Http error : HTTP/1.1 404 File not found:  
/var/opt/SUNWsymon/mcp/procmon-zoneagentbase/index.xml
```

ゾーンエージェントへの MCP 伝播に失敗した場合、エラーメッセージは `taskreq.log` に記録されます。

```
Operation mcp has failed on target:hostname:1161 Exception was thrown:  
/usr/bin/nawk:  
can't open file /var/opt/SUNWsymon/cfg/base-modules-d.dat.MCP
```

回避策: ゾーンエージェントの `/var/opt/SUNWsymon/zone-scripts-d.dat` ファイルをエディタで開き、スクリプト名 `es-mcp-get` および `es-mcp-put` を追加してください。

完全ルートゾーンで **MCP** が一部モジュールパラメータをエージェントに伝播しない (6420023)

回避策: なし

フィルタ条件で **1** つまたは複数の **OS** を除外したときに、その **OS** マシンが検出される (6403422)

回避策: なし

フィルタ条件をプラットフォームタイプにして、**IP** アドレス範囲を指定したときに、該当するホストが検出されない (6341225)

検出要求の実行では、IP アドレス範囲を指定し、特定のプラットフォームタイプを選択します。次の条件がすべて満たされている場合、オブジェクトは検出されません。

1. 検出要求でデフォルトポートオプションが選択されている。

2. 検索場所として追加ポートも指定されている。
3. 検索するホストでデフォルトポートと追加ポートの両方が占有されている。

回避策: 検索するオブジェクト上のデフォルトおよび追加ポートの両方をチェックする場合は、デフォルトポートと追加ポートそれぞれに検出要求を作成します。

フィルタ条件にあるプラットフォームタイプリストにあるゾーンおよび **x86-generic-pc** のエントリが間違っている (6419443)

回避策: なし

「ジョブの管理」ダイアログで **Java** 例外がスローされる (6346065)

回避策: CST サービスの実行時にタスク作成で問題が発生することがあります。es-stop -x を使用して、CST サービスを停止してください。

ppc での **adhoc** コマンドの実行終了後に、stdout に書き込まれたメッセージの一部が **probServer** によって返されないことがある (6415353)

回避策: 呼び出される側のスクリプトに 2 ないし 3 秒の sleep を挿入してください。

地域対応に関するバグ

CLI の **Help** コマンドで表示される製品バージョンが間違っている (6408902)

コマンド行インタフェースの help コマンドに *about* および *legal* パラメータを付けたときに表示される製品バージョンが間違っています。

回避策: なし

GUI による設定: Performance Reporting Manager の設定の進捗パネルで「次へ」ボタンが有効になる (5029528)

Performance Reporting Manager データベースの設定中に「次へ」ボタンをクリックすると、エラーが発生することがあります。

回避策: Performance Reporting Manager データベースの構成中は、「次へ」ボタンをクリックしないでください。

Netscape 4.7.x で簡体字中国語ロケール (zh_CN.GBK または zh_CN.GB18030) のページが正しく表示されない (4864462)

Netscape バージョン 4.7.x ブラウザで簡体字中国語ロケール (zh_CN.GBK または zh_CN.GB18030) のページテキストを表示すると、文字が正しく表示されません。

回避策: デフォルトブラウザに別のブラウザを指定してください。これらのロケールで正常に機能することが判明しているブラウザは次のとおりです。

- Netscape™ 6.2.2
- Netscape 7.x
- Mozilla™
- Microsoft Internet Explorer

Volume System Monitoring (VSM) のバグ

「規則」ウィンドウで「OS バージョン」の空白が正しく表示されない (6344665)

OS テーブルの OS バージョンに空白文字が含まれている場合、「規則」ウィンドウでその空白が正しく表示されません。

回避策: OS バージョンの定義には ASCII 文字を使用してください。

OS オブジェクトテーブルで **Web** コンソールから **Apache Server** エラーが返される (6330990)

OS オブジェクトが初期化されていないと、Web コンソールがエラーページを表示しません。

回避策: データの表示には、Java コンソールを使用してください。

複数バイト文字を含むコンテナ名がコンソールで正しく表示されない (6343127)

Sun N1™ System Manager (N1SM) GUI で作成されたコンテナ名に複数バイト文字が使用されていると仮定します。この場合、Sun Management Center Console の「ホスト詳細」ウィンドウの次の場所で、そのコンテナ名が正しく表示されません。

1. 「モジュールブラウザ」タブ → 「ハードウェア」 → 「VSM モジュール」 → 「VSM オブジェクト」 → 「コンテナのオブジェクト」 → コンテナテーブルの「コンテナ名」
2. 「モジュールマネージャ」タブ → 「VSM モジュール」 → 「規則」 → 「属性名リスト」

回避策: Sun Management Center は、データフィールドでの複数バイト文字列の使用をサポートしていません。このため、Sun Management Center と N1SM を統合する場合は、コンテナ名に ASCII 文字を使用してください。

Hardware Diagnostic Suite ソフトウェアのバグ

Hardware Diagnostic Suite の `enctest` が電源装置の状態を報告しないことがある (4908213)

Sun StorEdge D1000 の格納装置に対する Hardware Diagnostic Suite の完全テストでは、問題が解決しているにもかかわらず、電源ケーブルが外れているなど、重大ではないエラーが報告されることがあります。

回避策: Sun StorEdge D1000 システムに接続されている Sun Management Center エージェントを再起動してください。

JAVA_HOME パスに **80** 文字を超える長さの値を設定すると、間違ったエラーメッセージが表示される (**4854768**)

JAVA_HOME パスに 80 文字を超える長さの値を設定すると、次の間違ったエラーメッセージが表示されます。

```
Could not start Hardware service
```

次のように入力することによって、Hardware Diagnostic Suite が動作しているかどうかを確認できます。

```
% ps -ef | grep HWDS
```

回避策: このエラーメッセージは無視してください。Hardware Diagnostic Suite は正しく起動しています。

ローカルゾーン内で **Hardware Diagnostic Suite** が正しく動作しない (**6337001**)

Hardware Diagnostic Suite は、大域ゾーン内でのみ動作するようになっています。Sun Management Center の設定スクリプトにバグがあるため、ローカルゾーン内では Hardware Diagnostic Suite は正しく動作しません。

回避策: ローカルゾーン内で Hardware Diagnostic Suite を実行しないでください。

Performance Reporting Manager ソフトウェアのバグ

Java サービスに問題が発生すると、**Performance Reporting Manager** がエージェントデータの収集に失敗する (**4855306**)

15 個以上の Performance Reporting Manager レポート要求を同時に実行するようにスケジュールした場合、Performance Reporting Manager がある程度動作した後、次の問題 (1 つまたは複数) が発生することがあります。

- エージェントマシンからデータを収集できない。
- いくつかのレポート要求が実行状態のままになる。
- レポート要求を希望どおりにスケジュールできない。
- グルーピングタスク要求を希望どおりにスケジュールできない。

- レポートマネージャの GUI を起動できない。
- ジョブの管理の GUI を起動できない。

上記の問題のいずれかがあると、ジョブの管理 GUI を起動したときに、次のエラーメッセージがコンソールに表示されることがあります。

Task Service is not available

また、これらの問題がある場合、Report Manager GUI を起動したときに、次のエラーメッセージがコンソールに表示されることがあります。

Report Service is not available

回避策: この問題が発生した場合は、サーバーコンポーネントをいったん停止し、再起動してください。次のコマンドを入力します。

```
# es-stop -A
```

```
# es-start -A
```

この問題を回避するには、15 個を超えるレポート要求を同時に実行するスケジュールを作成しないでください。スケジュール設定、一定の時間、要求の実行時間がずれるようにします。たとえば、1 時間おきに実行する必要がある要求が 20 個ある場合は、それらの要求を 2 つのバッチに分けて、10 個ずつにします。そして、2 つのバッチを少なくとも 15 分ずらして実行するようにスケジュールします。2 つのバッチを同時に実行するようにスケジュールしてはいけません。

「すべてのホスト」オプションを選択すると、アラームレポートが正しくフィルタリングされない (4788475)

アラームのレポートで「すべてのホスト」オプションを選択し、フィルタを指定すると、エージェントマシンに関するアラームが正しくフィルタリングされません。

「すべてのホスト」オプションを選択し、フィルタを指定すると、全ホストに関して記録されたアラームのすべてに、指定したフィルタ条件が適用されます。レポート出力には、フィルタで選別されたアラームが返されます。また、このレポートには、監視下にあるすべてのホストからの「エージェントの応答なし」のアラームと「ホストの応答なし」のアラームも含まれます。そうしたアラームには、指定したフィルタ条件が適用されません。

回避策: この問題は、アラームレポートにホスト名を明示的に指定することによって回避できます。次に示す回避策のいずれかを選択してください。

- 単一のホストに関するアラームレポートを生成する場合は、hostname:port の形式でホスト名を指定するか、Sun Management Center のトポロジ表示からホスト名を選択する。

- 複数のホストに関するアラームレポートを生成する場合は、ホスト名の選択に、`hostname:port` の形式のコマ区切りでホスト名を指定するか、Sun Management Center のトポロジ表示から複数のホスト名を選択する方法を取る。

Service Availability Manager ソフトウェアのバグ

x86 システムの IMAP4 モジュールに空白のセル値がある (5032172)

Service Element for IMAP4 と Synthetic Transaction for IMAP4 モジュールのサービス測定テーブルに追加された行のセル値が、空(ゼロ)になります。これらのモジュールを読み込み解除および再度読み込みしたあとに行を追加すると、次のメッセージが表示されます。

```
Row with following index exists:nnn
```

このバグにより、Service Element for IMAP4 および Synthetic Transaction for IMAP4 モジュールを x86 システムで動作できなくなることがあります。

回避策: x86 上で動作する IMAP サービスを監視するには、必ず、SPARC エージェントホストに Synthetic Transaction for IMAP4 モジュールを読み込みます。また、読み込まれたモジュールは、x86 システム上の IMAP サービスをプローブするよう構成されている必要があります。

Microsoft Windows 2000 システムにおいて「サービスオブジェクトの変更」ダイアログボックスで文字が受け付けられないことがある (4738717)

Microsoft Windows 2000 システム上で動作している Java 実行環境のバージョンが 1.3.1 ~ 1.4.0 の範囲のいずれかの場合、「サービスオブジェクトの変更」ダイアログボックスのいくつかのテキストフィールドで文字が受け付けられないことがあります。サービスタイプをデフォルトの HTTP 以外に変更しようとしたとき、「ホスト名」および「インスタンス」テキストフィールドに入力した文字が受け付けられません。

注 - Java 実行環境のバージョンが 1.4.1 の場合、この問題は発生しません。

回避策: 「サービスオブジェクトの変更」ダイアログボックスを使用する前に、Microsoft Windows 2000 システムにバージョン 1.4.1 の Java 実行環境をインストールしてください。

Solaris Container Manager のバグ

Sun Management Center の CLI が翻訳されていない

Sun Management Center のコマンド行インタフェース (CLI) は、英語版のみ提供されています。このバージョンは翻訳されていません。英語版であっても、インストール処理や機能は変わりません。

回避策: 英語以外のロケールでインストールを行うには、GUIでインストール (es-guiinst) と設定 (es-guisetup) を行なってください。

使用状況グラフのイメージのタイトルと見出しが英語で表示される

英語以外のロケールを選択しても、使用状況グラフのイメージのタイトルと見出しが英語で表示されます。これらの値の地域対応は行われません。

SPARC: 拡張アカウンティング機能が Solaris 8 で使用できない

Solaris 8 OS を使用しているシステムでは、Container Manager で拡張アカウンティング機能が使用不可になっています。したがって、Solaris 8 システムでは、コンテナの CSV ファイルの拡張アカウンティングデータ (Exacct) 列は null になります。

/etc/project データベース内の一部のプロジェクトが Container Manager で検出されない場合がある

エージェントホストの /etc/project データベース内のプロジェクトが、Sun Management Center のデータベース内のプロジェクトとプロジェクト ID が同じでプロジェクト名が異なる場合、プロジェクトは Container Manager で検出されません。Container Manager では、同じサーバーコンテキスト内のすべてのホスト間でプロジェクト ID が一意である必要があります。

projadd コマンドを使用してプロジェクトを作成しないでください。Container Manager だけを使用してプロジェクトを管理してください。

回避策: projadd コマンドで作成されたデフォルト以外のプロジェクトをエージェントホストの /etc/project データベースから削除し、Container Manager の新規コンテナウィザードを使用してコンテナを作成します。

セキュリティ権限のエラーメッセージが不完全

ゾーン、プールまたはプロジェクトの、作成、変更または削除に失敗したときに表示されるエラーメッセージが不完全で、詳細が表示されません。次のような内容のエラーメッセージが表示される場合があります。

- リソースプールを作成できない
- ゾーンを作成できない
- プロジェクト、ゾーン、またはプールを更新できない
- 有効なユーザーのコンテナを有効にできない
- コンテナをホストに関連付けることができない

回避策: これらのエラーのいずれかが発生した場合は、このあとのプロファイルに関する推奨事項を参照してください。ただし、推奨されている作業を行う前に、ユーザーが有効な Sun Management Center ユーザーであり、必要な管理者権限を持っている (esadm、esdomadm グループに属している) ことを確認してください。

次のコマンドを実行して、必要なプロファイルにユーザーが関連付けられていることを確認してください。

```
$ profiles <username>
```

必要なプロファイルは次のとおりです。

- Solaris 10 の場合 - ゾーン管理、プール管理、プロジェクト管理
- Solaris 9 の場合 - プール管理、プロジェクト管理
- Solaris 8 の場合 - プール管理、プロジェクト管理

必要なプロファイルがない場合は、次のコマンドをスーパーユーザーで実行し、ユーザーに関連付けられているプロファイルを変更します。

```
# usermod -P "<必要なプロファイルをコンマで区切ったリスト>" <username>
```

システム上にプロファイルが存在しない場合は、/etc/security ディレクトリの prof_attr ファイルに次の形式で必要なエントリを追加します。

```
Pool Management:::Resource pool management profile:help=RtPoolMgmt.html
```

```
Project Management:::Manage Solaris
projects:auths=solaris.project.read,solaris.project.write;
help=RtProjManagement.html
```

次のコマンドを実行して、ユーザーが SCM モジュールのローカルアクセスユーザーリストに含まれているかどうかを確認します。

```
<BASEDIR>/SUNWsymon/sbin/es-config -M scm-container -s
```

ユーザーがアクセスリストに含まれていない場合は、次のコマンドを実行します。

```
<BASEDIR>/SUNWsymon/sbin/es-config -M scm-container -l <user_name>
```

エージェントのパフォーマンスが低下するか、応答が遅くなる (6247892)

エージェントがクラッシュし、scm-container* のファイルが /var/opt/SUNWsymon/cfg/ ディレクトリに残されています。エージェントが再起動したときに、最高のパフォーマンスではない場合があります。このような状況のときは、次のエラーメッセージが表示される場合があります。

「セキュリティ権限が不十分であるため、操作を完了できません。」

次のコマンドを入力して、エージェント上のプロセスの状態を確認できます。

```
% ps -eaf | grep esd
```

回避策: パフォーマンスを向上するには、次のコマンドを入力します。

1. スーパーユーザーになります。
% su -
2. エージェントを停止します。
/opt/SUNWsymon/sbin/es-stop -a
3. 状態ファイルを削除します。
rm /var/opt/SUNWsymon/cfg/scm-container*
4. サーバーを再起動します。
#/opt/SUNWsymon/sbin/es-start -a

サーバーの再起動後に Java Web Console が再起動しない (6252233)

サーバーの再起動後に Java Web Console が自動的に再起動しません。

Java Web Console を起動するには、次のコマンドを入力します。

1. スーパーユーザーになります。
% su -
root パスワードを入力します。
2. Java Web Console を再起動します。
/usr/sbin/smcwebserver restart
3. 今後は Java Web Console が再起動するようにします。
/usr/sbin/smcwebserver enable

回避策: なし

無効なロケールを選択したときにゾーンの作成に失敗する (6259233)

「新規ゾーン」ウィザードの「ロケール」ドロップダウンメニューから無効なロケールを選択すると、ゾーンの作成に失敗します。「ロケール」ドロップダウンメニューには無効なロケール値が含まれる可能性があります。

有効なロケールについては、『International Language Environments Guide』の「Supported Locales」を参照してください。

回避策: 「新規ゾーン」ウィザードの「ロケール」ドロップダウンメニューから有効なロケールを選択します。ロケール値がわからない場合は、c (英語ロケール) を選択します。

アラームバッジではなくツールチップが表示される (6219617)

アラームが発生しているときに、アラームバッジそのものではなく、アラームバッジのツールチップが表示される場合があります。

別の区画に移動してからアラームが発生しているオブジェクトのアイコンに戻ると、アイコンのバッジが正しく表示されます。

回避策: なし

ブラウザの「戻る」ボタンをクリックしたときに例外が発生する場合がある (6241424)

ブラウザの「戻る」ボタンをクリックすると、Container Manager から例外がスローされる場合があります。このリリースでは、ブラウザの「戻る」ボタンはサポートされていません。

この例外から回復するには、https://server_name:6789/containers を表示し、適切なページに移動します。

回避策: なし

ユーザー nobody が所有する一部のプロセスがコンテナに移動しない (5011290)

Solaris 9 オペレーティングシステムでは、newtask コマンドのバグが原因で、一部のプロセス (たとえばユーザー nobody で実行される Java™ アプリケーション) がコンテナに移動しません。

回避策: ユーザー `nobody` で実行されるアプリケーションを、`newtask` コマンドを使用して適切なコンテナ内で起動します。

```
# /usr/bin/newtask -p projectname command
```

projectname はアプリケーションを起動するプロジェクト、*command* はアプリケーションを起動するコマンドです。

詳細は、`newtask(1)` のマニュアルページを参照してください。

nscd を一致式として使用するとホストがハングアップする (4975191)

次のいずれかの一致式を使用してコンテナ定義を作成してから有効にすると、エージェントホストがハングアップします。

- `n`
- `ns`
- `nsc`
- `nscd`

回避策: `newtask` コマンドを使用して、適切なプロジェクト内で `nscd` プロセスを開始します。

```
# /usr/bin/newtask -p projectname command
```

projectname はアプリケーションを起動するプロジェクト、*command* はアプリケーションを起動するコマンドです。

詳細は、`newtask(1)` のマニュアルページを参照してください。

サーバー層の再インストールまたは設定の後にエージェントホストが見つからない (4964051)

Sun Management Center ソフトウェアをサーバーレイヤーに再インストールする場合は、アンインストール時にデータを残してください。同様に、サーバーレイヤーで再設定を行う場合は、データベースを再作成しないオプションを選択します。データを残さずにサーバーレイヤーで再インストールまたは再設定を行なった場合、以前に検出されたエージェントホストがデータベースに含まれなくなる可能性があります。

回避策: 再インストールまたは再設定を行なったあとにホストが見つからない場合は、次の手順でホストで Sun Management Center エージェントを再起動します。

1. エージェントシステムにログインします。
2. スーパーユーザーになります。

```
% su -
```

3. 次のように入力して Sun Management Center エージェントを停止します。

```
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-stop -a
```

4. 次のように入力して Sun Management Center エージェントを起動します。

```
# /opt/SUNWsymon/sbin/es-start -a
```

ゾーンの作成後に `zlogin -C` が必要 (6388082)

ほかの物理マシンに存在するゾーンにアクセスするには、大域ゾーンから `zlogin -C <zone-name>` を入力し、そのゾーンの設定を行います。

ゾーン作成の「ネームサーバー」フィールドに、ネームサーバー値に続けて IP アドレスを入力します。たとえば、「ネームサーバー」フィールドには、`ns1.sun.com (10.255.255.255)` のような値を指定できます。

構成リーダーアドオンのバグ

`es-validate` コマンドの報告するバージョン番号が英語版とほかの言語版の間で異なる (6331558)

エントリレベルプラットフォーム (ELP)、Netra、デスクトップ/ワークステーション、ワークグループサーバー用のアドオン製品は、今回のリリースで更新されていません。これは、前の2つのリリースから変更する必要がなかったためです。

回避策: なし

ローエンドおよびミッドレンジシステムで **PICL** がいくつかのシステム構成変更を読み取らないことがある (6243759)

この問題は、ELP、Netra、およびデスクトップ/ワークステーションの構成リーダーで発生します。

Solaris 10 を使用している Netra 240/440/T4、Sun Blade 100、および Sun Fire V240 サーバーの Platform Information and Control Library (PICL) が、初期化後に、`bge1-bge3` ドライバなどの構成変更を読み取らないことがあります。これらドライバのインスタンスは、`prtconf -v` コマンドの出力には反映されますが、`prtpicl -v` コマンドの出力には反映されません。

回避策: `svcadm restart picl` コマンドを発行することによって、`prtconf` ユーティリティで PICL を再調整してください。

Netra のバグ

動的再構成後に PICL デーモンを再起動しなければならない (6247392)

Solaris 10 で `cfgadm` コマンドを使用してシステムボードに動的再構成 (DR) 操作を行なったあと、構成リーダーのテーブルのいくつかの値が表示されないか、"--" と表示されます。この影響を受けるのは、構成リーダーテーブルの次のエントリです。

- システム
- ネットワークデバイス
- LOM
- ASR
- LOM イベント
- LOM アラーム
- 障害インジケータ

ハードウェアの概要と物理表示も影響を受けます。ハードウェアの概要では値が "--" と表示され、物理表示ではシステムの画像が表示されません。

回避策:

DR 操作後に、次のコマンドを使用して PICL デーモンを再起動してください。

Solaris 8 または 9 システムの場合:

```
% /etc/init.d/picld stop
```

```
% /etc/init.d/picld start
```

Solaris 10 システムの場合:

```
% svcadm restart svc:/system/picl:default
```

Netra 1280 サーバーで DC PSU タイプ D142 の動的再構成後に PICL デーモンを再起動しなければならない (6247392)

Netra 1280 サーバーで DC PSU タイプ D142 を動的に再構成したあと、PICL デーモンが更新されていません。

回避策: DR 操作後に、次のコマンドを使用して PICL デーモンを再起動してください。

Solaris 8 または 9 システムの場合:

```
% /etc/init.d/picld stop
```

```
% /etc/init.d/picld start
```

Solaris 10 システムの場合:

```
% svcadm restart svc:/system/picl:default
```

DC 電源装置フィールドの A と B が逆になっている (6277372)

DC 電源装置フィールドの A と B の報告が逆になっています。たとえば、A が故障していて、B が正常の場合、Sun Management Center は、B が故障していて、A が正常と報告しません。

回避策: なし

動的再構成で内部デバイスが検出されない (6326558)

Solaris 10 システムに対する DR 操作の取り外しプロセス中、ディスク、ネットワークなどの内部デバイスが検出されません。

回避策: DR 操作後に、次のコマンドを使用して PICL デーモンを再起動してください。

```
% svcadm restart picl
```

この回避策を使用しても、Solaris 10 システムで動作するエージェントが、内部デバイス(ディスク、ネットワーク)の取り外しや挿入、再構成操作の発生を検出できないことがあります。

ワークグループサーバーのバグ

Sun Fire V880 または Sun Fire V480 サーバーで「アラーム」タブを選択すると、アラームの警告メッセージが発生する (6317433)

2つのオブジェクトを持つ Fire V880 または Sun Fire V480 サーバーの検出オブジェクトで「アラーム」タブを選択すると、次のようなアラーム警告メッセージが表示されます。

次のようなアラーム警告メッセージです。

```
Unable to get event management information from agent. Agent was busy or down. Will default to local event manager.
```

多くの場合、この警告メッセージは誤りで、エージェントは正しく動作しています。

「了解」をクリックすると、アラームタブのテーブルがデフォルトでローカルのイベント管理になります。いったん、検出されたオブジェクトの詳細ウィンドウを閉じ、再び開いて、「アラーム」タブをクリックすると、同じ警告メッセージが表示されます。

回避策:なし

Solaris 10 が動作する Sun Fire V890 サーバーの「ハードウェア規則」テーブルのプロセッサタイプに誤りがある (6318026)

Sun Fire V890 サーバーは、UltraSparc-IV プロセッサを搭載して出荷されます。にもかかわらず、「ハードウェア規則」テーブルの「プロパティ」列に、プロセッサタイプとして「Correctable Memory Error, Ultra Sparc III」または「I/O Correctable Error, Ultra Sparc III」と表示されます。

回避策:なし

最新情報

この章には、時間的な問題から、Sun Management Center 3.6.1 マニュアルセットに反映されなかった新機能に関する情報が含まれています。

この章の内容は次のとおりです。

- 43 ページの「サポート廃止になったプラットフォーム」
- 44 ページの「Sun Management Center 3.6.1 のサポートする Sun システム」
- 47 ページの「Solaris 10 Update 3 における Fault Manager イベントサービスの提供」

サポート廃止になったプラットフォーム

表 3-1 に、このリリースからアドオンソフトウェアによるサポートが廃止されたプラットフォームをまとめています。

これらのプラットフォームで Sun Management Center ソフトウェアを使用するには、以前のバージョンを使用する必要があります。Solaris 10 オペレーティングシステムがインストールされたこれらのプラットフォームで Sun Management Center を使用する場合の最低限の要件は次のとおりです。

- Sun Management Center 3.5 Update 1b
- パッチ 118389-07 以降

注 - Sun Management Center 3.6 では、Netra アドオンソフトウェアによる Sun Fire V1280 のサポートは廃止されています。代わりに、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用のアドオンソフトウェアか、以前のバージョンの Sun Management Center を利用してください。

表 3-1 バージョン 3.6 でサポートが廃止されたプラットフォーム

アドオンソフトウェア	サポート廃止のプラットフォーム
Netra	Netra T1/X1 シリーズ Sun Fire V1280 — 代わりに Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用のアドオンを使用
Starfire (Sun Enterprise 10000)	全アドオンのサポートを廃止。
Sun Enterprise 3x00/4x00/5x00/6x00 および SPARCserver 2000 (x は何らかの数字)	全アドオンのサポートを廃止。
サーバーブレード B200x/B100 x/B100 搭載の Sun Fire B1600	全アドオンのサポートを廃止。
Sun Fire Link	全アドオンのサポートを廃止。
ワークグループサーバー	Sun Enterprise 450/420R/250/220R/10/5/2 Sun Filer N8400/N8200 Sun Ultra 450/250/10/5/2/1
ワークステーション	Sun Ultra 80/60/30

Sun Management Center 3.6.1 のサポートする Sun システム

Sun Management Center 3.6.1 のサポートする Sun システムは次の表に示すとおりです。

表 3-2 Sun Management Center 3.6.1 のサポートする Sun システム

システムのタイプ	モデル
CoolThreads™ サーバー	Sun Fire T1000
	Sun Fire T2000
Sun Fire エントリーレベルサーバー	Sun Fire V100
	Sun Fire V120
	Sun Fire V210

表 3-2 Sun Management Center 3.6.1 のサポートする Sun システム (続き)

システムのタイプ	モデル
	Sun Fire V240
	Sun Fire V250
	Sun Fire V440
	Sun Fire 280R
Sun Fire ミッドレンジおよびハイエンドサーバー	Sun Fire V490/V480
	Sun Fire V890/V880
	Sun Fire E2900/V1280
	Sun Fire E4900
	Sun Fire E6900
	Sun Fire E25K/E20K
	Sun Fire 15K/12K
	Sun Fire 6800/4810/4800/3800
キャリアグレードサーバー	Netra 1290 ¹
	Netra 1280
	Netra 120
	Netra 210
	Netra 240
	Netra 440
	Netra 20
	Netra t 1120/1125
	Netra t 1400/1405
デスクトップ	Sun Ultra 45
	Sun Blade 100
	Sun Blade 150
	Sun Blade 1000

¹ Sun Management Center 3.6 Version 3 アドオンソフトウェアをダウンロードする必要があります。詳細は、46 ページの「Release 3.6 Version 3 における Netra 1290 システムに対するサポート」を参照してください。

表 3-2 Sun Management Center 3.6.1 のサポートする Sun システム (続き)

システムのタイプ	モデル
	Sun Blade 1500
	Sun Blade 2000
	Sun Blade 2500

UltraSparc IV+ の CPU/メモリボードがサポートされているプラットフォームは次のとおりです。

- Sun Fire V890/V490
- Sun Fire E2900
- Sun Fire E6900/E4900
- Sun Fire E25K/E20K

Release 3.6 Version 3 における Netra 1290 システム に対するサポート

Netra 1290 システムは、最近リリースされた Sun Management Center 3.6 Version 3 の Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアでサポートされています。

注- このアドオンソフトウェアを以前にインストールしたことがあっても、コア 3.6.1 ソフトウェアをインストールしたあとに再インストールしてください。

コア Sun Management Center 3.6.1 ソフトウェアと、このアドオンソフトウェアのインストールについては、13 ページの「Sun Management Center 3.6 Version 3 の Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用アドオンソフトウェアのインストール: Netra 1290 システムでは必須」を参照してください。

コア Sun Management Center 3.6.1 ソフトウェアをインストールしたあとで、このアドオンソフトウェアをインストールする方法については、『Sun Management Center 3.6 Version 3 Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムのためのアドオンソフトウェアご使用にあたって』を参照し、「Sun Management Center 3.6 ソフトウェアからのアップデート」という節の指示に従って、コア Sun Management Center 3.6 ソフトウェアに対する参照を「3.6.1」に置き換えてください。この『ご使用にあたって』は、<http://docs.sun.com/> から入手できます。

Solaris 10 Update 3 における Fault Manager イベントサービスの提供

Sun Management Center 3.6.1 では、Fault Manager デーモン (FMD) で発生したフォルトイベントをモジュールが送受信できるようになっています。

この Sun Management Center FM イベントサービスは、Solaris 10 Update 3 で使用できます (エージェントモジュールライター)。このサービスは Sun Management Center FM プラグインに依存し、このプラグインは Solaris 10 Update 3 の一部として提供される予定です。

◆ ◆ ◆ 第 4 章

マニュアルに関する情報

この章では、マニュアルの記述の誤りと欠落について取り上げています。

全般的な注意事項

ソフトウェア CD には、Sun Management Center 3.6.1 のマニュアルは含まれていません。 <http://docs.sun.com> から、英文マニュアルおよび地域対応のマニュアルを入手できます。

製品には、オンラインヘルプは含まれていません。「ヘルプ」メニューから「Sun Management Center ヘルプ」を選択すると、 <http://docs.sun.com> にある Sun Management Center 3.6.1 ドキュメントコレクションにアクセスできます。

『Sun Management Center 3.6.1 インストールと構成ガイド』

『Sun Management Center 3.6.1 インストールと構成ガイド』の『Sun Management Center 3.6.1 インストールと構成ガイド』の「サポートされるプラットフォーム」が更新されていません。44 ページの「Sun Management Center 3.6.1 のサポートする Sun システム」の最新情報を参照してください。

Solaris Container Manager 3.6.1 オンラインヘルプ

地域対応版の Solaris Container Manager 3.6.1 オンラインヘルプに、追加ゾーン属性の変更に関する情報がありません。「ゾーンのプロパティについて」のページに次の情報を追加する必要があります。

▼ 追加ゾーン属性を変更する

- 1 「ゾーン-プロパティ」区画の「ゾーンの追加属性」セクションにある「編集」ボタンをクリックします。
「ゾーン-プロパティ」区画を表示していない場合は、「「ゾーン-プロパティ」区画に移動する」を参照してください。
- 2 追加ゾーン属性の新しい値を指定します。
コマンドごとに行を変え、各行はセミコロンで終了します。
- 3 「了解」をクリックします。

例 4-1 1

```
add attr;  
  
set name=attribute1;  
  
set type=string;  
  
set value="Test";  
  
end;
```

例 4-2 2

```
set pool=mypool;
```

例 4-3 3

```
remove attr name=attribute2;
```

『Sun Management Center 3.5 Sun StorEdge A5x00 および T3 Array のための追補マニュアル』

「表 1-42 Sun StorEdge T3 モジュール - 規則」に、次の規則が含まれていません。

規則	説明
rple400	FRU/ディスク - fruState および fruStatus を使用して、ディスクが正常であるかどうかを判定する。

規則	説明
rple401	FRU/コントローラ - fruState および fruStatus を使用して、コントローラが正常であるかどうかを判定する。
rple402	FRU/ループカード - fruState および fruStatus を使用して、ループカードが正常であるかどうかを判定する。
rple403	FRU/電源冷却装置 - fruState および fruStatus 使用して、電源冷却装置が正常かどうかを判定する。
rple404	System/basic-table/basic-entry/sysStatus 規則 - sysStatus が OK でない場合は、T3 アレイに何らかの障害が発生している。

『Sun Management Center 3.5 VSP High End Entry サーバー (ワークグループサーバー) のための追補マニュアル』

12 ページに、新しい地域対応パッケージのインストールに関する参照先として『Sun Management Center 3.6.1 インストールと構成ガイド』が示されていますが、誤りです。

『Sun Management Center 3.6.1 インストールと構成ガイド』には、新しい地域対応パッケージに関するインストール情報は含まれていません。次のように読みかえてください。

インストールでは、オンラインヘルプファイルとサポートファイルに対する追加言語を選択できます。

『Sun Management Center 3.5 ワークステーションのための追補マニュアル』

9 ページに、新しい地域対応パッケージのインストールに関する参照先として『Sun Management Center 3.6.1 インストールと構成ガイド』が示されていますが、誤りです。

『Sun Management Center 3.6.1 インストールと構成ガイド』には、新しい地域対応パッケージに関するインストール情報は含まれていません。次のように読みかえてください。

インストールでは、オンラインヘルプファイルとサポートファイルに対する追加言語を選択できます。

フランス語、日本語、韓国語、簡体字中国語、および繁体字中国語の追補マニュアルに関する情報

次に示す Sun Management Center 3.6 の日本語 (JA)、フランス語 (FR)、韓国語 (KO)、簡体字中国語 (ZH)、繁体字中国語 (ZH_ZW) 用の各追補マニュアルは、PDF 形式でのみ提供されています。

- 『Sun Management Center 3.6 Sun Fire、Sun Blade および Netra システムのための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire ハイエンドシステムご使用にあたって』
- 『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire ハイエンドシステムのための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire ミッドレンジシステムご使用にあたって』
- 『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire ミッドレンジシステムのための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムご使用にあたって』
- 『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムのための追補マニュアルs』
- 『Sun Management Center 3.5 Netra サーバーのための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 VSP High End Entry サーバー (ワークグループサーバー) のための追補マニュアル』
- 『Sun Management Center 3.5 ワークステーションのための追補マニュアル』

『Sun Management Center 3.5 Netra サーバーのための追補マニュアル』 (日本語版のみ)

第 1 章に、次の地域対応パッケージの情報が含まれていません。

表 4-1 地域対応パッケージ導入の概要

言語	パッケージ
フランス語	SUNWfesna
	SUNWfesni
	SUNWfesns

表 4-1 地域対応パッケージ導入の概要 (続き)

言語	パッケージ
日本語	SUNWjesna
	SUNWjesni
	SUNWjesns
韓国語	SUNWkesna
	SUNWkesni
	SUNWkesns
簡体字中国語	SUNWcesna
	SUNWcesni
	SUNWcesns
繁体字中国語	SUNWhesna
	SUNWhesni
	SUNWhesns

注- これらのパッケージのインストールには、`pkgadd` コマンドを利用しないでください。
『Sun Management Center 3.5 Netra サーバーのための追補マニュアル』の第3章で説明しているように、インストールには、インストールスクリプトを利用してください。

